

地域づくり協働推進支援事業

初年度となった今年は59団体から応募があり、事業への関心の高さと市民の地域活性化への熱意を改めて感じています。事業の内容は、地域資源を活用した特産品づくりやコミュニティビジネスの立ち上げ、伝統芸能の保存など、いずれも地域の将来を見据えたもので、地域づくり協働推進会議で審査を行い、42団体の事業を採択しました。

住民自らのアイデアと熱意による地域活動が、各地域はもとより市全体の活性化にもつながっていくものと期待し、採択団体には地域づくり計画の策定に向け全庁体制で支援するとともに、不採択となった団体にも、来年度の再応募に向けバックアップしていきます。

地域おこし協力隊

市では、国の地域おこし協力隊推進事業を活用し、大葛地区への「協力隊員」受け入れに取り組みます。

協力隊員は、首都圏などの都市部にお住まいのかたが大葛地区に移住し、市の臨時職員として、農業や農産物加工業などへの従事、高齢者の暮らしサポート、地域活動や地域行事への応援などを行うものです。地域の新たな担い手として、地域力の維持、強化に向け活躍していただきたいと思っておりますが、雇用期間が最長3年間となっているため、終了後も引き続き定住してもらえようサポートしていききたいと考えています。

協力隊員の募集は、9月17日から10月20日まで移住・交流推進機構、首都圏のハローワーク、渋谷区就労支援センターしゅやびつテなどを通じて行い、ラジオ放送などを利用したPRを含め幅広く周知していきます。また、面接は千代田区のZAC東京で行うことにしています。

体験型観光の受け入れ等

今年度は、5月下旬から6月上旬にかけて札幌市内の中学校5校、合わせて730人が訪れ、きりたんぼづくりや田植えなどの体験学習を行いました。来年度は、既に6校から予約が寄せられ、900人規模の見込みとなっています。

このほど、市では、さまざまな体験メニューを加えた新たな体験型観光コースの確立と受け入れ体制の充実に向け、関連団体による「大館市まるごと体験推進協議会」を立ち上げました。今後は受け入れ窓口を一本化して、体験型観光による誘客を推進していきます。

市立総合病院のエックス線CT装置の更新

県の「救急医療体制整備事業」を活用して導入を進めてきた総合病院の「64列マルチスライス・エックス線CT装置」は、CT装置本体のほか、画像配信システムの設置などが完了し、8月30日から稼働しました。

新しいCT装置は、従来と比べて撮影時間が大幅に短縮されるため、患者さんの肉体的、精神的負担が軽減します。ま

た、画像のデータ化による配信システムの導入で、体内の微細な構造を鮮明な画像で即座に確認することが出来、さまざまな病気の早期発見や早期治療、治療効果の判定などに、これまでに、これまでに以上に貢献出来るものと期待しています。



新たに導入したCT装置

平成21年度の市税等の収納状況と未収債権対策

一般市税の現年度分は、調定額の落ち込みにより、収納額は前年度比3億3207万円減の79億5652万円、収納率は前年度を0.04ポイント下回る97.9%となりました。

滞納繰越分は、滞納処分強化により収納率が前年度実績を大きく上回ったものの、これらを合わせた未収残高は前年度より6097万円増加し、6億7233万円となっています。

国保税は、現年度分の収納額が前年度比4790万円減の15億160万円、収納率は前年度を0.22ポイント上回る92.55%となりましたが、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度比924万円増の6億7405万円となっています。

市税等の滞納対策は、休日納付・相談窓口を開設して対応しているほか、悪質な滞納者には、不動産や債権のほか動産

等の差し押さえも行い、入札による公売に加えインターネット公売での換価も実施しています。速報値では本市の現年度分の収納率は県内13市中、一般税、国保税とも3番目に高い率となっています。

税外収入金の一般会計、特別会計を合わせた現年度分収納率は、前年度を0.08ポイント下回る98.65%で、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度比522万円増の1億296万円となっています。また、企業会計の現年度分収納率は、前年度を0.23ポイント下回る96.36%で、滞納繰越分を合わせた未収残高は、前年度比417万円増の2億6206万円となっています。

今後も、市の債権全体についてきめ細かな納付指導を行うとともに、必要な場合は支払督促制度を活用した強制徴収と滞納処分を行い、新規滞納の抑制、滞納繰越額の圧縮を推し進め、未収債権の整理に努めます。

そのほかの報告

- ・ 7月の大雨による被害状況等
- ・ 小泉地区における携帯電話通信の接続
- ・ 大館市環境マネジメントシステムの登録維持
- ・ 大館市土地改良区合併準備契約の締結
- ・ 学校緑化事業の実施
- ・ 夏季イベントの開催
- ・ 旧正札竹村新館B棟1階への県関連施設の入居
- ・ 平成22年度成人式
- ・ 市立病院広報の創刊
- ・ 公共事業の進捗状況